



徳川葵の御紋と 伊奈本多家 ゆかりコース

ルーツ探訪ウォーキング



1 花ヶ池公園

●花ヶ池公園

室町時代(1529年)、伊奈城主本多正忠は岡崎城主の松平清康(徳川家康の祖父)に従い、吉田城を攻略した。そして、正忠は清康を伊奈城に迎え勝利の祝宴を開いた。この時、正忠は城内の池のありふれた水葵に肴を盛って出した。これは中国の古典・春秋左氏伝に習い潔白な忠誠心を清康に表したものである。清康は喜び、この時、伊奈本多家の「立葵の家紋」を望み、以来用いるようになり、後に「徳川・三葉葵の家紋」となると伝えられています。水葵を採った池を「花ヶ池」と言い、「伊奈城趾」とともに憩いの公園として整備されています。



2 伊奈城趾公園

●伊奈城趾公園 有り



3 おしょうけん お松見

●お松見

樹木が茂る一面に伊奈本多家の墓所で、第6代城主本多忠俊とその妻、本多光忠(忠俊の嫡男)とその妻、第7代城主本多忠次の計4基(5名)の墓碑があります。墓碑前の灯籠は、膳所藩城代家老本多久充が奉献したもので膳所(滋賀県大津市)の縁心寺には、お松見の絵図が残っています。



4 若宮八幡社

●若宮八幡社

本多定忠が伊奈城を築いてからは守護神として崇め、それ以後本多氏歴代の崇敬が深かったと伝えられています。社前にある太いイヌマキ2株は、第3代伊奈城主本多泰次が社殿再建の際に植えたとの言い伝えがあるので、樹齢500年以上と推定されています。



5 東漸寺

●東漸寺

昔、前芝村に東漸寺という延命地藏尊をまつる小堂だけの廃寺がありました。ところが、津波によりこの地藏尊が、伊奈の地に流れ着いたので、村人はこれを崇めてまつっていました。この地藏尊を本尊として、室町時代(1492年)第3代伊奈城主本多泰次が堂を建て、万年山東漸寺と名付け、本多家先祖累代の菩提寺としました。境内には伊奈本多家初代から五代までの墓碑がまつられており、伊奈本多家ゆかりの寺であることを偲ぶことができます。有り

歩き周遊ルート
名所と祭り
自転車周遊ルート
電車周遊ルート